資料5

石岡市男女共同参画に関する市民意識調査

日頃より市政に対しご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

男女共同参画は、自分にはあまり関係ないと思われる方もいるかもしれません。しかし、男女が仕事や家庭、地域活動などさまざまな場面で役割を分かち合い、バランスよく生活できる社会は、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を実現し、幸福度の向上につながります。また、男女平等の取り組みは、国際的なジェンダーギャップ指数の改善にもつながり、出生率の向上、さらには若い世代の転出抑制といった課題の解決にも寄与すると期待されています。

このような中、市では、平成 30 年３月に「第２次石岡市男女共同参画基本計画」を策定し、令和９年度までの間、男女がお互いを尊重し、それぞれの個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に取り組んでまいりました。

このたび、次の 10 年間の計画策定に向けた調査を実施しますので、ご多用のところ恐縮ですが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和８年●月

石岡市長　戸井田和之

【ご記入にあたってのお願い】

1　回答していただく方は…

この調査は、封筒のあて名のご本人がお答えください。事情によりご本人が回答できない場合は、ご家族の方がお答えいただいても構いません。

2　回答の方法は…

①調査票に記入して回答・・・調査票にご記入の上、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに、ポストに投函してください。

②Ｗｅｂ上で回答・・・・・・ＰＣ・スマートフォンから下記ＵＲＬ入力、または、ＱＲコードを読み取り、ＩＤを入力の上、ご回答をお願いします。



★インターネット回答の方法★

ＩＤ：200089

回答ページＵＲＬ：

https://s-kantan.jp/city-ishioka-ibaraki-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=28947

回答ページから ID を入力の上、ご回答をお願いします。

ID は重複回答を防ぐためのもので、個人を特定するものではありません。

お答えは設問ごとに指定されていますので、設問をよくお読みになってご記入ください。また、「その他」を選択された場合は、具体的内容を（カッコ）内にご記入ください。

3　ご記入が終わったら…

無記名のまま、同封の返信用封筒に入れて、●月●日（●）までにポストへ投函してください。（切手は不要です）

4　個人情報の取り扱い

調査は無記名でお答えいただき、調査結果は統計的に処理いたしますので個人を特定するものではありません。

5　この調査に関するお問い合わせは…

石岡市役所 市長公室 人口創出課　男女共同参画担当
〒315-8640　石岡市石岡一丁目１番地１
電話 0299-23-7278（直通）
電子メール　jinkousoushutu@city.ishioka.lg.jp

１　男女の平等に関する意識について

問１　　あなたは、次にあげる８つの分野及び社会全体において、男女の地位は平等になっていると思いますか。（それぞれについて該当する「１～６」に○を１つ）

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない
⑴　家庭生活(家事・育児など)	1	2	3	4	5	6
⑵　職場	1	2	3	4	5	6
⑶　学校教育の場	1	2	3	4	5	6
⑷　政治の場	1	2	3	4	5	6
⑸　町内会、自治会などの住民組織	1	2	3	4	5	6
⑹　地域活動	1	2	3	4	5	6
⑺　社会通念、慣習、しきたりなど	1	2	3	4	5	6
⑻　法律や制度	1	2	3	4	5	6
⑼　社会全体	1	2	3	4	5	6

２　男女の生き方や家庭生活などに関する考え、役割分担などについて

結婚または同棲等によるパートナーがいる方のみお答えください。
該当する方がいない場合は問３へお進みください。

問2-1　　家事分担の「理想」を選択してください。

１	100%（すべてあなた）
２	90%
３	80%
４	70%
５	60%
６	50%
７	40%
８	30%
９	20%
１０	10%
１１	0%（全て配偶者）

問2-2　　家事分担の「現実」を選択してください。

１	100%（すべてあなた）
２	90%
３	80%
４	70%
５	60%
６	50%
７	40%
８	30%
９	20%
１０	10%
１１	0%（全て配偶者）

問３　　「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方をどう思いますか。（〇は１つ）

１	同感する	２	どちらかといえば同感する		
３	どちらかといえば同感しない	４	同感しない	５	わからない

問４　家事、育児、介護・看護、仕事や学業（通勤・通学時間含む）以外で、あなたが自分の好きなことをするための自由時間（可処分時間）について、以下それぞれの１日あたりの平均時間を教えてください。

※睡眠、食事・飲食、洗顔・入浴・トイレ・身じたくなど生活に必要な時間は除いてください。
※曜日等によって時間にバラつきがある場合は、平均してください。

平日（例：趣味、休憩、友人との交流、運動、学習など）

１	10 時間以上	２	８時間以上～10 時間未満	３	６時間以上～8 時間未満		
４	４時間以上～６時間未満	５	２時間以上～4 時間未満				
６	１時間以上～２時間未満	７	30 分以上～1 時間未満	８	30 分未満		

休日（例：趣味、リラクゼーション、外出、読書、学習など）

１	10 時間以上	２	８時間以上～10 時間未満	３	６時間以上～8 時間未満		
４	４時間以上～６時間未満	５	２時間以上～4 時間未満				
６	１時間以上～２時間未満	７	30 分以上～1 時間未満	８	30 分未満		

問５　あなたの往復の通勤・通学時間を教えてください。
※テレワークの有無等でバラつきがある場合は、平均してください。

１	３時間以上	２	２時間未満～１時間 30 分以上				
３	１時間 30 分未満～１時間以上	４	１時間未満～30 分以上				
５	30 分未満	６	通勤・通学していない				

３　結婚観や子どもに関する考えについて

問６　結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことについていろいろな考えがありますが、
それぞれについて、あなた自身はどのようにお考えでしょうか。

（それぞれについて該当する「１～４」に○を１つ）

	１賛成	２どちらかといえば賛成	３どちらかといえば反対	４反対
⑴　生涯を独身で過ごすことは、望ましい生き方ではない	１	２	３	４
⑵　男女が一緒に暮らすなら結婚するべきである	１	２	３	４
⑶　どんな社会でも女らしさ、男らしさはある程度必要だ	１	２	３	４
⑷　結婚したら子どもを持つべきだ	１	２	３	４
⑸　男性どうし、女性どうしの結婚があってもかまわない	１	２	３	４

問７　子どもの出生数のことでお伺いします。

⑴　あなたの理想とする子どもの数は何人ですか。（○は１つ）

１	４人以上	２	３人	３	２人
４	１人	５	０人	６	わからない

⑵　実際の子どもの数又は実際に子育てできると思う数は何人ですか。（○は１つ）

１	４人以上	２	３人	３	２人
４	１人	５	０人	６	わからない

⑶　⑵の実際の数が、⑴の理想の数よりも少ない方にお伺いします。その理由は何ですか。お考えに近い順番に３つまで番号を記入してください。その他を選ぶ方は「10」を記入の上、下の欄に理由を記入願います。

第１位（　　）　第２位（　　）　第３位（　　）

１	出産・子育ての身体的・心理的負担が大きいから
２	子どもの教育等経済的負担が増えるから
３	年齢的な理由から（妊娠や出産の身体的リスクや生殖能力の低下等）
４	仕事と子育ての両立が困難だから
５	子育てに対して配偶者の理解、協力がないから
６	子育てより自分の時間を大切にしたいから
７	住環境の問題（住宅が狭い等）
８	欲しいけれどできないから
９	子どもを持つ気がない
１０	その他（具体的に：　　）

４　仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

問８　「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の状況において、理想はどうあるべきだと思いますか。また、現実はどうですか。（現在、仕事を行っていない方は今後のお考えをお答えください。○はそれぞれ１つ）

用語の意味

・「仕　　事」・・自営業主（農林漁業を含む）、家族従業、雇用者として週１時間以上働いていること。常勤、ﾊﾟｰﾄ、ｱﾙﾊﾞｲﾄなどを問いません。
・「家庭生活」・・家族と過ごすこと、家事、育児、介護、看護など。
・「地域・個人の生活」・・地域活動（ボランティア活動、交際・つきあいなど）、学習・研究（学業も含む）、趣味、娯楽、スポーツなど。

【理想】

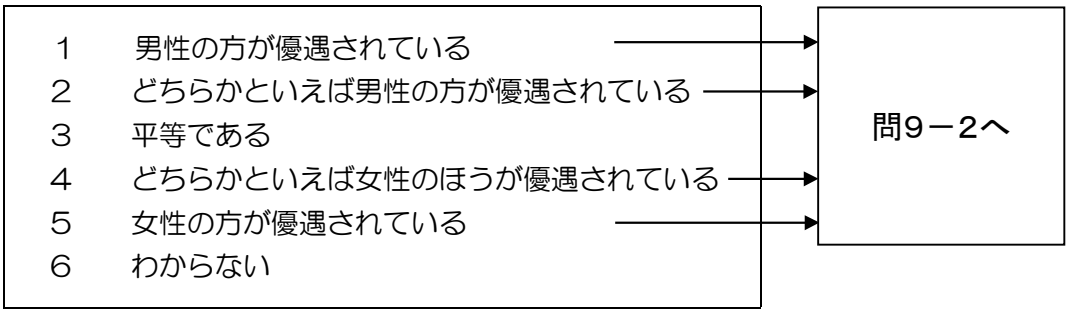
１	「仕事」に専念している
２	「家庭生活」又は「地域・個人の生活」にも携わりつつ、「仕事」を優先している
３	「家庭生活」又は「地域・個人の生活」と「仕事」を両立している
４	「仕事」にも携わりつつ、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」を優先している
５	「家庭生活」又は「地域・個人の生活」に専念している
６	よくわからない

【現実】

１	「仕事」に専念している
２	「家庭生活」又は「地域・個人の生活」にも携わりつつ、「仕事」を優先している
３	「家庭生活」又は「地域・個人の生活」と「仕事」を両立している
４	「仕事」にも携わりつつ、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」を優先している
５	「家庭生活」又は「地域・個人の生活」に専念している
６	よくわからない

５　就業について

問９－１　職場における男女の地位は平等になっていると思いますか。（３ページ問１の（２）職場と同じ答えになります。○は１つ）



問９－２　問９－１で、１、２、４、５とお答えいただいた方にお伺いします。その具体的な内容はどのようなことですか。（○はいくつでも）

１	採用時の条件
２	賃金、昇進、昇格
３	能力の評価
４	異動・転勤
５	女性は庶務的な仕事など男女で職務内容を固定的に分ける
６	仕事に対する責任の求められ方
７	研修の機会や内容
８	有給休暇の取得のしやすさ
９	育児・介護休暇の取得のしやすさ
１０	女性に対して結婚、出産退職などの慣行がある
１１	その他（具体的に：　　）

問 10　お仕事をされている方にお伺いします。あなたの務めている事業所（自営業含む）でワークライフバランスが進んでいるか教えてください。（○は１つ）

１	非常に進んでいる（仕事の私生活の両立が十分に実現できている）
２	ある程度進んでいる（一定の配慮や制度が整っている）
３	あまり進んでいない（まだ改善の余地が多いと感じる）
４	ほとんど進んでいない（仕事と生活の両立が難しい状況にある）
５	まったく進んでいない（仕事と生活の両立が非常に難しい状況にある）
６	わからない

問 11－1　　子どもを持つ男女が退職せずに働き続けるために重要なことはなんですか。（○はいくつでも）

1	子どもを預けられる環境の整備
2	家事支援サービスの充実
3	育児支援サービスの充実
4	介護支援サービスの充実
5	職場における育児・介護との両立支援制度の充実
6	時短勤務・フレックスタイム・在宅勤務等の働き方制度の充実
7	時短勤務等の働き方で制約のある人が働き続けることへの周囲の理解・意識改革
8	時短勤務等の働き方で制約のある人が働き続けることが可能な人員配置体制の充実
9	男女の公平な家事・育児・介護の分担
10	男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革
11	育児や介護等による制約を理由とした不利益な取り扱いの廃止
12	キャリアアップに向けたリスキリングや能力開発支援
13	デジタルワーク（在宅・副業など）のスキル習得支援
14	その他（具体的に：　　）
15	特にない・わからない

問 11－2　　子どもを持つ男女が退職せずに働き続けるために“最も”重要なことはなんですか。（○は１つ）

1	子どもを預けられる環境の整備
2	家事支援サービスの充実
3	育児支援サービスの充実
4	介護支援サービスの充実
5	職場における育児・介護との両立支援制度の充実
6	時短勤務・フレックスタイム・在宅勤務等の働き方制度の充実
7	時短勤務等の働き方で制約のある人が働き続けることへの周囲の理解・意識改革
8	時短勤務等の働き方で制約のある人が働き続けることが可能な人員配置体制の充実
9	男女の公平な家事・育児・介護の分担
10	男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革
11	育児や介護等による制約を理由とした不利益な取り扱いの廃止
12	キャリアアップに向けたリスキリングや能力開発支援
13	デジタルワーク（在宅・副業など）のスキル習得支援
14	その他（具体的に：　　）
15	特にない・わからない

６　地域活動・社会参画について

問１２－１　　あなたは現在、町内会やボランティアなどの地域活動はしていますか。

１　している	⟶	問13－2へ	２　していない	⟶	問14へ

問１２－２　　問１２－１で、１の「している」とお答えいただいた方にお伺いします。
それはどのような活動内容（分野）ですか。（あてはまる主なものに○を１つ）

１	まちづくり関係	２	自然環境保護関係	３	子ども関係
４	高齢者関係	５	障害者関係	６	安全・安心な生活関係
７	健康や医療関係	８	スポーツ・文化関係	９	災害関係
10	町内会関係	１１	その他（具体的　　）		

問１３　　議員や審議会委員など、政策方針決定の場に女性が参画することについて、あなたはどう思いますか。（○は１つ）
《参考》R8.4.1 時点の審議会委員の女性割合　27.9%
R8.4.26　石岡市議会議員選挙結果における女性議員割合　9.1%

１	男性を上回るほど増える方がよい
２	男女半々になるくらいまで増える方がよい
３	男女半々まではいかなくても、今より増える方がよい
４	今のままでよい
５	今より少ない方がよい
６	その他（具体的に：　　）
７	わからない

７　ドメスティック・バイオレンス(配偶者・恋人等からの暴力)

困難な問題を抱える方について

問１４－１　あなたが、自力では解決できない困難な問題として直面したことがあるものは何ですか。（○はいくつでも）

１	生活困窮（非正規雇用・多重債務など）
２	配偶者（元配偶者も含む）や恋人からの暴力被害（身体的暴力、精神的暴力等）
３	家庭不和（家族が抱える問題も含む）
４	離婚問題（養育費問題も含む）
５	育児・家事の負担
６	性暴力被害
７	職場でのセクハラ・マタハラ
８	職場でのパワハラ
９	ストーカー被害
１０	リベンジポルノ・AV 出演被害
１１	家出、住所喪失
１２	その他（具体的に：　　）
１３	そのような経験はない
１４	答えたくない

問１４－２　問１４－１で、１～12 を選択された方にお伺いします。
選択した困難問題（複数選択された方は最も困難な問題）について誰かに相談しましたか。（○は１つ）

１　相談した	２　相談していない	３　わすれた・わからない

問１４－３　問１４－２で、相談したとお答えいただいた方にお伺いします。
誰に相談しましたか。（○はいくつでも）

１	都道府県や市町村などの窓口に相談した
２	警察に相談した
３	家族、親戚に相談した
４	友人、知人に相談した
５	職場の同僚に相談した
６	職場で設けられた相談機関に相談した
７	電話相談窓口に相談した
８	民間の支援団体に相談した
９	メール、SNS 相談窓口に相談した
１０	その他（具体的に：　　）

問１４－４　問１４－２で、相談しなかったとお答えいただいた方にお伺いします。
相談しなかった理由を教えてください。（○はいくつでも）

１	解決できると思っていない
２	誰かに助けてもらえると思っていない
３	何をすればいいかわからない
４	身近に相談できる相手がいない
５	他者に話しにくい内容である
６	適切な相談窓口を知らない
７	問題の原因が自分にあると思っている
８	上手く伝えられる自信がない
９	その他（具体的に：　　）

問１５　困難な問題を抱える女性やDV被害者の相談窓口で知っているものはありますか。（○はいくつでも）

１	石岡市女性のための困りごと相談
２	茨城県女性相談センター
３	配偶者暴力相談センター
４	女性専用相談電話（茨城県警察が開設）
５	NPO法人ウィメンズネット「らいず」
６	DV相談プラス
７	性暴力相談に関するSNS相談「Cure time」
８	その他（具体的に：　　）
９	知っているものはない

８　LGBTQ 等の性的指向の多様性について

問１６　　令和５年に「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」が施行されました。次にあげる言葉の中であなたが知っているものはありますか。（○はそれぞれ１つ）

１　LGBTQ

意味：「レズビアン」「ゲイ」「バイセクシュアル」「トランスジェンダー」「クエスチョニング／クィア」の頭文字を並べた言葉で、「性的マイノリティ」の総称のひとつ。

①言葉も意味も知っている
②言葉は知っているが意味は知らない
③言葉も意味も知らない

２　SOGI

意味：性的指向（Sexual　Orientation）及び性自認（Gender　Identity）の頭文字を組み合わせた言葉で、全ての人のセクシュアリティに関わる概念。

①言葉も意味も知っている
②言葉は知っているが意味は知らない
③言葉も意味も知らない

３　カミングアウト

意味：自身の「性のあり方」を他者に公言すること。

①言葉も意味も知っている
②言葉は知っているが意味は知らない
③言葉も意味も知らない

４　アウティング

意味：本人の同意なしに、その人の「性のあり方」を第三者に暴露すること。

①言葉も意味も知っている
②言葉は知っているが意味は知らない
③言葉も意味も知らない

５　アライ（Ally）

意味：性的マイノリティが生きづらい社会を変えていくために、当事者の味方・仲間として共に行動する人。

①言葉も意味も知っている
②言葉は知っているが意味は知らない
③言葉も意味も知らない

問１７　性的マイノリティ（LGBTQ 等）の人権を守るために、どういった取組が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

１	学校教育現場での取組み （性の多様性に関わる授業、制服やトイレに関する配慮　等）
２	相談窓口の設置
３	広報紙、ホームページ、講演会等での啓発
４	公的施設での不便解消 （トイレ、更衣室、施設利用上の配慮　等）
５	職場での取り組み （性的マイノリティが働きやすい職場環境の整備　等）
６	書類の記載や窓口における取組 （性別欄の記載に関する配慮、本人確認をする際の配慮　等）
７	その他（具体的に：　　）

９　男女共同参画社会について

問１８　　男女共同参画社会を実現するためには、市は今後、主にどのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。（○は３つまで）

１	関係する制度の制定や見直し
２	女性に不利な慣習の見直し
３	男女共同参画全般についての意識啓発、広報活動の充実
４	男女共同参画の視点に立った教育や学習の充実
５	男女が共に働きやすい就業環境の整備
６	各種保育や介護サービスの充実など仕事と家庭の両立支援
７	審議会など政策や方針決定過程への女性の積極的起用
８	行政機関や公立学校における女性管理職の積極的起用
９	地域や団体で活躍できる女性リーダーの養成
１０	自主防災組織や避難所運営の意思決定の場への女性の参画
１１	女性の再就職や起業を支援する相談や情報提供などの施策の充実
１２	女性のライフステージに応じた健康支援やフェムテックの普及
１３	配偶者等からの暴力被害の防止、根絶や相談・救援体制の充実
１４	農林漁業・商工サービス業の家族従事者の地位の向上
１５	男性も対象とした各種講座や相談活動の充実
１６	男女共同参画社会実現のための各種情報の提供や団体交流、調査研究の充実
１７	その他（具体的に：　　）

問 19　　男女平等や男女共同参画などについて普段感じていること、市へのご意見、ご要望等がございましたら、自由にご記入下さい。

最後にあなたご自身について

Ｆ１　自認する性別はどちらですか。（○は１つ）

１	男性	２	女性	３	その他	４	答えたくない

Ｆ２　あなたの年齢（令和８年５月１日現在）は次のどれに該当しますか。

１	２０歳未満	２	２０～２４歳	３	２５～２９歳
４	３０～３４歳	５	３５～３９歳	６	４０～４４歳
７	４５～４９歳	８	５０～５４歳	９	５５～５９歳
１０	６０～６４歳	１１	６５～６９歳	１２	７０～７４歳
１３	７５～７９歳	１４	８０歳以上		

Ｆ３－１　あなたの職業はどのような内容ですか。（主なものを１つ）

１	農林業（自営業主）	２	農林業（家族従事者）
３	商工・サービス業（自営業主）	４	商工・サービス業（家族従事者）
５	自由業（自営業主）	６	自由業（家族従事者）
７	被雇用者（第１次産業、農林水産業）	８	被雇用者（第２次産業、製造・建設）
９	被雇用者（第３次産業、サービス業）	10	専業主婦・主夫
11	学生	12	無職

Ｆ３－２　働いている方のみお答えください。あなたの就労先どこですか。（○は１つ）

１	市内	２	市外（茨城県内）	３	茨城県外

Ｆ３－３　上記Ｆ３－１で、７、８、９とお答えいただいた方にお伺いします。
（１）そのお仕事の雇用形態を教えてください。（○は１つ）

１	正規（フルタイム）	２	正規（短時間）
３	非正規（フルタイム）	４	非正規（短時間・パートタイム、アルバイト含む）

（２）あなたの職名は何ですか。（○は１つ）

１	管理職	２	非管理職

Ｆ４－１　あなたは結婚されていますか。

１	結婚している（法律婚）	２	結婚していないがパートナーと暮らしている（事実婚含む）		
３	離別	４	死別	５	未婚

Ｆ４－２　上記Ｆ４－１で、１、２とお答えいただいた方にお伺いします。あなたの配偶者又はパートナーの方の職業はどのような内容ですか。（○は１つ）
（２つ以上仕事をお持ちの方は主なものを１つ）

1	農林業（自営業主）	2	農林業（家族従事者）
3	商工・サービス業（自営業主）	4	商工・サービス業（家族従事者）
5	自由業（自営業主）	6	自由業（家族従事者）
7	被雇用者（第１次産業、農林水産業）	8	被雇用者（第２次産業、製造・建設）
9	被雇用者（第３次産業、サービス業）	10	専業主婦・主夫
11	学生	12	無職

Ｆ４－３　働いている方のみお答えください。あなたの就労先どこですか。（○は１つ）

1	市内	2	市外（茨城県内）	3	茨城県外

Ｆ４－４　上記Ｆ４－２で、７、８、９とお答えいただいた方にお伺いします。

（１）あなたの配偶者又はパートナーの方の雇用形態を教えてください。（○は１つ）

1	正規（フルタイム）	2	正規（短時間）
3	非正規（フルタイム）	4	非正規（短時間・パートタイム、アルバイト含む）

（２）あなたの配偶者又はパートナーの方の職名は何ですか。（○は１つ）

1	管理職	2	非管理職

Ｆ５－１　あなたにはお子さんがいますか。

1	いる	2	いない

Ｆ５－２　Ｆ５－１で、１の「いる」にお答えいただいた方にお伺いします。一番下のお子さんは、現在次のどれに該当しますか。（○は１つ）

1	小学校入学以前	2	小学生	3	中学生	4	高校生
5	専門学校、短大、大学、大学院生	6	その他（　　）				

Ｆ６　あなたには、現在介護を必要とするご家族はいますか。
同居の有無に関わりなくお答えください。

1	いる	2	いない

Ｆ７　あなたが現在生活しているご家庭の家族構成は、次のどれに該当しますか。

1	１人世帯	2	夫婦のみの世帯	3	親と子からなる世帯
4	親と子と孫からなる世帯	5	その他の世帯（　　）		

Ｆ８　あなたが現在お住まいの地区はどの中学校区になりますか。

1	石岡中地区	2	府中中地区	3	旧城南中地区	4	国府中地区
5	旧柿岡中地区	6	旧八郷南中地区	7	旧有明中地区	8	園部中地区

これですべての調査は終了です。ご協力ありがとうございました。